

大腸切除術

入院診療計画書

主治医 (中山/黒崎/須郷)

	手術前日まで	手術前	手術後	1日目	2~3日目	4~5日目	6~8日目
月日			/	/	/	/	/
安静	自由	手術まで自由	ベッド上安静 	自由			
清潔	前日の夜は入浴してください おへその掃除をしてください 	歯磨き・洗面は行なってください	汗をかいたり、着替えはお手伝い致しますので、看護師に声をかけください	午前中に体をふきます トイレでウォシュレットをしてください	下半身浴ができます 背中の痛み止めの管が抜けたら入浴できます	入浴できます 傷は水が入らないようなテープを貼っているため強くこすらないでください	入浴できます 
食事	夜の10時以降は食べたり飲んだりできません	起床後より、何も食べたり、飲んだりしないでください	麻酔が覚めたら氷からはじめて気持ち悪くならないように水分を少しずつ飲むことができます 	水分(水・お茶・ポカリ)のみとることができます	朝から重湯ができます 重湯にはこぶ茶を入れるとおいしくなるそうです	3分粥になります 翌日は5分粥になります	全粥になります 翌日は常食になります
処置 点滴	手術中は同じ姿勢のため、エコノミー症候群と呼ばれる症状が起きやすくなります そのため予防的に圧力の強い靴下を履きますので、サイズをはかります	午前中、背中に痛み止めの管を入れます。手術の後、持続的に麻酔薬が流れて痛みを緩和してくれます 点滴をします 肺梗塞予防のストッキングをはきます	点滴をします 酸素投与を行います 心電図モニターをつけます(翌日朝まで) 	医師の診察があります 点滴をします 	点滴をします 背中に入っている管を抜きます	点滴をします 食事が食べられるようなら点滴は終了になります	7日目 / 抜糸します
観察	入院したら血圧・体温をはかります 	血圧・体温をはかります	ナースステーションの近くの部屋で経過をみます 手術の後はこまめに血圧をはかります				
トイレ	自由	手術までは自由にトイレに行くことができます	麻酔がかかっている間に尿の管を入れてきます 手術の後は、自然に尿が袋にたまるようになっていますので、トイレに行く必要はありません 便の場合は車イスでトイレに行きます	朝、尿の管を抜きます トイレに歩きましょう  手術後初めての歩行は、ふらつく恐れがあるので、看護師が付き添います	食事は重湯なので、便もやわらかくなります お腹が辛い場合は整腸剤を処方してもらいます		
検査	血液検査 レントゲン 心電図 肺機能 			血液検査(朝) レントゲン(胸・腹部)	3日目 / 血液検査 腹レントゲン(朝食前)	5日目 / 血液検査 腹レントゲン(朝食前)	7日目 / 血液検査 腹レントゲン(朝食前)
飲み薬	続けて飲んでください 睡眠薬を常用している場合は飲んでゆっくり休んでください 医師に中止するよう指示があった場合は指示に従ってください	指示された薬は少量の水で飲んでください		朝から痛み止めの薬を飲みます 5日間で飲みきって終了です 飲む時間を調整しても良いです 今まで飲んでる薬は続けて内服してください 			
患者さんとご家族への説明	手術に必要な物 バスタオル 2枚 (できるだけ無地のもの) 入院生活に必要なもの 洗面道具 湯のみ はし・スプーンなど スリッパ 入院生活の説明をします 手術同意書、手術に必要な物をお預かりします	手術用の着物に着替えます 下着(パンツ)のみ着用してください 貴金属・時計・入れ歯ははずしてください 髪の毛の長い人はたばねてください 貴重品はご家族に預けてください 時 分に歩いて手術室へ行きます	痛みは我慢せずにお知らせください 痛み止めの点滴をします 	痛みは我慢せずにお知らせください 痛みをコントロールしながら、どんどん歩きましょう 	手術によってあなたの腸は短くなりました そのため、下痢や便秘になりやすくなっています 消化を助けるつもりで、ゆっくりよく噛んで食べましょう また食べた後はすぐに横にならず30分は座っていきましょう	『下痢の時』 ・お腹を温めましょう ・脱水になりやすいので、水分をしっかりとりましょう ・刺激物は避けましょう 『便秘の時』 ・お腹をマッサージしましょう ・適度に運動をしましょう ・水分を多めにとりましょう ・乳酸菌飲料・食物繊維をとりましょう	8日目 / 退院おめでとうございます 次回の診察は 月 日です 診察券をお渡しします 退院証明書は1階の入退院受付でお渡します 